

臨床の 玉手箱 歯冠補綴編

監修 鷹岡竜一 大谷一紀

鷹岡歯科医院

大谷歯科クリニック

編集委員 鎌田征之 稲垣伸彦

鎌田歯科医院

みどりが丘歯科クリニック

臨床の玉手箱シリーズ第4弾 『歯冠補綴編』いよいよ刊行！

歯冠補綴治療は、齲蝕や歯内病変、歯周病といった一歯単位の病態評価と、前処置、形成、印象採得、咬合調整など基本的な治療技術の習得・研鑽が問われる分野です。また、咀嚼や審美といった機能回復においては、患者から生来に近い状態を要望されるため、個別性も踏まえた高度な臨床力が求められます。

本書は、歯冠補綴治療のステップに準じて、必ず押さえておくべき基本的な事柄を整理したほか、審美補綴を支える材料の選択と臨床ノウハウ、そして近年著しく発展・普及してきたCAD/CAMの応用について網羅的に解説しています。さらに、患者ニーズに応えるべく基本技術のすべてを集約して対応した長期経過症例も掲載し、「何を見て、どのように考えて治療を組み立てたか」というエキスパート歯科医師の思考プロセスを疑似体験できるように構成しています。

第一線で活躍している歯科医師によって解説された歯冠補綴治療に必要な8カテゴリー全34トピックスをまとめた本書は、若手歯科医師はもちろん、ベテラン歯科医師の臨床アップデートにも最適な一冊となるでしょう。歯冠補綴治療を成功に導くノウハウが詰まった玉手箱を、ぜひ皆さんの臨床にお役立てください。

臨床の
玉手箱

歯冠補綴編

- ◆ 総論
- ◆ 前処置
- ◆ 形成～印象採得
- ◆ 咬合採得
- ◆ 咬合調整～装着
- ◆ 審美補綴
- ◆ 歯冠補綴におけるデジタルデンティストリーの現状と臨床応用
- ◆ 症例で学ぶ歯冠補綴



Dental Diamond 社

A4判・124頁・オールカラー
本体 12,000円＋税

詳しい情報は
こちら



歯冠補綴治療のエキスパート歯科医師による “最高のギフト”を玉手箱に収めました！



検査項目や補綴設計を考える上での着眼点、治療を支える各種マテリアルの特徴を網羅的に解説しています。



補綴前処置として欠かせない歯周外科処置からMTMまで、臨床ステップを提示しながら具体的に解説しています。



支台歯形成から補綴装置の装着までの基本手技の整理と、生じがちなエラーに対する対処法を解説しています。



審美補綴ならではの材料選択や各種治療ノウハウの解説からCAD/CAMの応用まで、最新ノウハウを集約しています。

CONTENTS

第1章 総論

- 01 検査・診断～治療計画
- 02 ブリッジの補綴歯数別・治療計画の違い
- 03 支台築造に用いる材料
- 04 仮着用セメントの種類 他

第2章 前処置

- 01 補綴処置前に見逃してはいけない歯周組織のサイン
- 02 上顎前歯部6歯に対するフェール獲得を目的とした歯冠長延長術
- 03 MTMによる挺出 他

第3章 形成～印象採得

- 01 支台歯形成
- 02 プロビジョナルレストレーション
- 03 ブリッジの支台歯のデザインとボンティック形態 他

第4章 咬合採得

- 01 下顎位の評価
- 02 咬合採得に用いる材料
- 03 少数歯欠損と多数歯欠損における咬合採得時の注意点

第5章 咬合調整～装着

- 01 補綴装置の試適時における確認事項
- 02 補綴装置の咬合調整
- 03 補綴装置の装着

第6章 審美補綴

- 01 前歯部審美修復に使用する歯冠材料と適応
- 02 審美修復のための評価
- 03 前歯部の支台歯形成① ラミネートベニア
- 04 前歯部の支台歯形成② クラウン 他

第7章 歯冠補綴におけるデジタルデンティストリーの現状と臨床応用

- 01 光学印象採得
- 02 デジタルを用いた2D・3Dのスマイルデザイン

第8章 症例で学ぶ歯冠補綴

- 01 重度歯周炎症例における少数歯補綴症例
- 02 咬合挙上を伴うフルマウスリコンストラクションを行った症例
- 03 齲蝕リスクの高い多数歯補綴症例の33年
- 04 デジタルを応用した咬合再構成治療

